

Title	東京近郊 史蹟案内(一高史談會編, 古今書院發行)
Sub Title	
Author	山本, 光郎(Yamamoto, Mitsuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1927
Jtitle	史学 Vol.6, No.4 (1927. 12) ,p.162(636)- 163(637)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19271200-0164

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

敷帳に就て——敷帳の釣初め、釣手等に就いての話。

コア羅談——蜘蛛に關する話で九州では蜘蛛をコアと云ふ。

夢と裡諺——佐賀郡地方の諺「夢百日播きしを、三日薙しな」等に就いて記述し、是は夢の播期のまちまちであるにもかゝらず、其の薙入時は梅雨等を控えるので精々三日位の差があるとの意義である。

河童のはなし——肥後八代地方では游泳の時河童除けとして佛

前の飯を喰うとか、鳳仙花で足指を赤く染めなどを始め、九州各地の河童話を集めたもの。

石楠草と通草子の裡諺——兩者の裡諺に就いて記したもの。(昭和二、八、一、武田勝藏)

飛驒史料 維新前後之一 (岡村利平編)

本書は岡村利平氏の撰史備用として蒐集せられた太古より明治に至る史料中、維新前後の一部(元治元年正月——明治元年六月中旬)を印行せられたものである。每條の首に網文を置いて其の事件の大要を摘録し、次に史料を列載して、同時代に於ける周囲の状況を知る唯一の書である。本書は飛驒を郷里とする人は勿論、維新史研究者の一覽すべきものである。

本書の印行を同地の史家として有名な陸軍中將押上泰藏翁の勧言並に捐資によると云ふが、不幸にして翁は本書の印刷中に逝去あつて其の完成を見られざりしと。筆者は故翁には各種研究會に同席し、研究旅行に同行して屢々高説を弁聽し、其の聲今猶は耳

衆に存して居る。過般其の訃報を聞いて哀悼の念に堪へず、今本書印行の次第を讀んで更に追憶の念を深くするものである。

本會はかく有益の良書を研究用として寄贈せられし飛驒史談會に感謝の意を表し、且つ右續編も不日學會の爲に印行あつて其翁の靈を弔慰せられむ事を切望して止まない次第である。(二)十、

一、武田勝藏)

東京近郊史蹟案内 (古今書院發行)

本書は、一高史談會が、實地史學演習の爲め、大正二年より以降數十回にわたつて、東京近郊の史蹟踏査研究の結果、成れるものであつて、世間にありふれた、この種の案内書と、類を異にする眞面目なる研究的なるものである。従つて、一般讀者にも、専門の歴史家にとりても、好個伴たるは疑ない。

本書は、先づ總説として、本書の範圍の地理的、歴史的沿革の概要を敘し、各説に對する意義、及び關係を明かにしてゐる。而して、各説は章別に凡そ一日の行程を規準として、大體南から右廻りに排列し、各史蹟については、その現狀、沿革、關係事項などを、道順に説明し、且つ、説明の事項に従つて、活字を組みかへ、一見判別に便にしてゐる。更に部分參考書、參考論文等は、適宜に文中に挿入し、一般的參考書は、別に卷末に附錄として載せ、合せて簡単に内容の得失長短について、短評を加へてゐる。尚ほ又、陸地測量部の地圖を併用するやうに、道順を示し、殊に史跡検出の便を計り、索引、並びに年號表を、附して、飽くまでも親

切に出来てゐる。

思ふに、東京附近は、史蹟的遺物、古跡に於ては、京畿方面に及ばぬであらうが、それにして、古代より近世にかけての各時代の遺物、古跡を網羅してゐる。これ實に、關東、殊に、武藏、下總が、地理的人文的背景が、他地方に比して、廣大なる所以を、示すものであつて、實に、東京市の發展の先天的條件であるといはねばならぬ。吾人は、現在の東京のめまぐるしい發展ぶりを、見るにつけ、この廣大なる歴史的背景に、回想せざるを得ないのである。(山本光郎)

寄讀文換圖書雜誌目錄

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 考古學雜誌十七ノ七、八、九、十、 | 江戸軟派研究發行所 |
| 東洋學報十六ノ二、三、 | 三ノ一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、 |
| 佛教研究八ノ三、 | 十一、十二、十三、十四、十五、 |
| 國學院雜誌三十三ノ八、九、十、十一、十二、 | 十六、 |
| 觀想四〇、四一、 | 別一、二、三 |
| 歷史と地理二〇ノ二、三、四、五、 | 東洋大學 |
| 國民經濟雜誌四三ノ二、三、四、 | 國學院大學 |
| 史學雜誌三十八ノ八、九、十、十一、十二、 | 東洋大學 |
| 神戸高等商業學校 | 東洋大學 |
| 史學地理學同攻會 | 東洋大學 |
| 神戸高等商業學校 | 東洋大學 |
| 歷史教育二ノ五、六、七、八、 | 東洋大學 |
| 人類學雜誌四十二ノ七、八、九、十、十一、 | 東洋大學 |
| 東京人類學會 | 東洋大學 |
| 刀劍隨筆、川口勝者 | 刀劍隨筆、川口勝者 |
| 樂浪郡時代の遺蹟、本文 | 南人會 |
| 梁山夫婦塚と其遺物、本文、圖版 | 朝鮮總督府 |
| 國史と系譜四ノ三、 | 朝鮮總督府 |
| 備後史談三ノ八、九、十、十一、 | 立命館大學出版部 |
| 神社協會雜誌廿五ノ一、二、三、四、 | 備後鄉土史會 |
| 廿六ノ五、六、七、八、九、十、神社 | 協會 |
| 刀劍研究十三ノ八、九、十、十一、十二、 | 社會教育研究會 |
| 南人會 | 社會教育研究會 |
| 東洋思想研究第廿 | 社會教育研究會 |